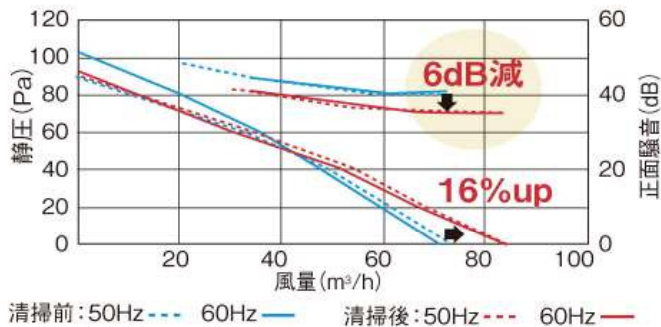


換気扇のお手入れ方法

毎日のように使用している換気扇（洗面・トイレ・お風呂）は、意外とお手入れを忘れがちです。換気扇はホコリが付着しやすく、溜まると換気機能の低下を招きます。月に1回程度のお手入れを心がけてください！故障の原因となりますので、無理に羽根を外さないでください。

■お手入れをすると機能が回復します！



※住宅のトイレで約10年間使用の当社品モニターデータ

お手入れを怠ると…

1. 換気風量の低下
 2. 運転騒音の拡大
 3. ホコリが落ちる
 4. 製品寿命の低下
- など、本来の機能が発揮できません。

お手入れ方法

※ケガをする恐れがあるので必ず電源を切り、ゴム手袋をして作業してください※



【カバー：洗面所・トイレ・お風呂共通】

カバーを下にひっぱり、針金を矢印の方向につまみ、カバーを外したら、掃除機などでホコリを取り除きます。

※汚れが落ちない場合は、シャワーで水を流しながらスポンジで汚れを落としていきます。取り付けの際は、完全に乾かしてください。

※お風呂の換気扇はカバーのみ取り外せます。

※壁付の換気扇の場合、カバーのみ取り外せます。



【羽根：洗面所・トイレ共通】

オリフィスがある場合は、羽根を取り外すことができます。

①オリフィスを「はずす」と書かれた方向に回し、取り外します。

②羽根のつまみを、指でつまみながら引っばると羽根が取り外せます。

③羽根は台所用の中性洗剤に浸け置きし、歯ブラシなどの柔らかいブラシで水洗いしたあと、からぶきして水分をよく拭きとります。

④羽根を外したまわりは、ホコリを取り除いてください。

⚠️ オリフィスが無く、羽根が取り外せない換気扇もございます。取り外せない場合は、歯ブラシ等のやわらかいブラシでホコリを取り除いてください。

※故障の原因となりますので、無理に外そうとせず取扱説明書をご覧ください。



【浴室乾燥機】

月に1回程度、浴室乾燥器の外側をかたく絞った雑巾で拭き、汚れを落とします。カバーが外せる場合は、内側からも拭き取ってください。フィルターはつまみをひっぱると取り出せます。取り出したら、掃除機などでホコリを取り除きます。※フィルターは水洗いできないタイプもあります。必ず取扱説明書をご覧ください。